

## 市第93号議案 横浜市福祉特別乗車券条例の制定

### 1 提案理由

福祉特別乗車券を交付することにより、障害者等の外出を支援し、もって障害者等の福祉の増進を図るため、横浜市福祉特別乗車券条例を制定したいので提案します。

### 2 条例の概要

今回の福祉特別乗車券の見直しでは、交付対象を新たに愛の手帳B2所持者へ拡大します。一方で、福祉特別乗車券を現に使用する方だけに交付する仕組みとして、交付されても使用しない方に辞退していただくきっかけとなるよう一律の利用者負担金を導入し、市費負担増の抑制策を組み込み安定的な制度を構築するための条例を制定します。

#### (1) 目的（第1条）

##### 【制定目的】

障害者等の外出を支援し、もって障害者等の福祉の増進を図る。

#### (2) 利用できる交通機関、有効期間等（第2条・第3条）

福祉特別乗車券により利用できる交通機関（市営バス・市営地下鉄全線、市内を運行する民営バス、金沢シーサイドライン全線）および有効期間（毎年10月1日から翌年9月30日まで）を定めます。

#### (3) 交付対象者、交付申請等（第4条・第5条）

交付対象者の範囲（70歳未満かつ次のいずれかの者。身体障害者手帳1級から4級所持者、知能指数75以下の者または愛の手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者、被爆者健康手帳所持者）、申請手続き、利用者負担金額（一律、年額1,800円）、利用者負担金額の特例を定めます。

#### (4) 譲渡・不正使用禁止（第6条）

#### (5) 負担金額の返還等（第7条・第8条）

#### (6) 施行期日（附則）

平成25年10月1日から施行することを定めます。

【参考】見直しによる対象者等事業量と予算への影響について（試算 一般財源（市費））

	福祉特別乗車券交付事業	タクシー券交付事業	ガイドヘルプ・ガイドボランティア事業	予算への影響額 （単位：億円）	
見直し概要	見直し内容【サービス拡充策】	<b>【制限の緩和】</b> ・月毎の利用制限を廃止し、1回7枚までを、いつでも利用できるようにします。  <b>【交付対象要件の拡大】</b> ・精神障害者手帳1級所持者へ対象者を拡大します。 ・施設入所者を交付対象者としてします。	<b>【ガイドヘルプ】</b> ・通学等へ利用範囲を拡大し、利便性を高めます。 ・障害者本人が自立して移動できる力を高めるための支援制度を創設します。 ・ヘルパー人材確保育成策を継続実施します。  <b>【ガイドボランティア】</b> ・余暇へ利用範囲を拡大し、ガイドヘルプを補う施策として位置づけます。 ・手帳要件を緩和し、軽度者へ対象範囲を拡大します。 ・ボランティア確保育成策を継続実施します。	1.4	
	事業量への影響	<b>【交付者約5,000人増加】</b> B2所持者約7,900人のうち約5,000人が交付希望と見込む。	<b>【交付対象者の増】</b> ・精神障害者手帳1級約2,700人 ・施設入所者への拡大で約700人		<b>【ガイドヘルプ利用時間数40,515時間増加】</b> ※23年度利用時間実績は627,126時間
	25予算への影響	<b>【交付者数増による影響なし】</b> 交通事業者への市負担金は前年10月1日時点の交付枚数が基準となるため。	<b>【0.5億円】</b> ・利用制限の緩和による利用枚数の増加、対象者拡大による利用者増加。		<b>【0.9億円】</b> ガイドヘルプ事業0.8億円増（報酬体系見直しによる減を含む）、ガイドボランティア事業0.1億円増。
	見直し内容【コスト削減・歳入確保策】	<b>【利用者負担金の導入】</b> ・利用頻度の低い方にご遠慮いただくために一定額（1,800円）の利用者負担金を導入します。	<b>【経過措置の撤廃】</b> ・手帳取得時の年齢制限導入（H17.4）以前からの「経過措置者」への交付を停止します。		<b>【ガイドヘルプ】</b> ・支給決定基準を見直します。（月48時間から原則30時間へ） ・新制度にあわせ、報酬体系を見直します。  <b>【ガイドボランティア】</b> ・奨励金を見直します。（1,900円～500円⇒一律500円）
	事業量への影響	<b>【交付者約5,000人減少】</b> 現在の交付者約50,000人のうち1割が辞退と見込む。	<b>【交付者数約3,000人減少】</b>		
	25予算への影響	<b>【交付者減による影響なし】</b> 交通事業者への市負担金は前年10月1日時点の交付枚数が基準となるため。  <b>【利用者負担金導入による歳入0.9億円】</b> ・現在の対象者約50,000人、対象拡大による5,000人の増、現在の対象者のうち辞退による5,000人の減。	<b>【▲0.6億円】</b>		<b>【▲0.2億円】</b> ・ガイドボランティア奨励金見直しによる減  ※ガイドヘルプの報酬体系見直しによる効果額は、通学等への拡大と合算。
予算への影響合計（単位：億円）	▲0.9	▲0.1	0.7	▲0.3	

その他、福祉特別乗車券での利用者負担金導入のためのシステム改修費、制度周知等にかかる費用として、現時点で**0.5億円**を見込んでいます。